

一般会計当初予算は414億3千万円

平成14年度予算のあらましをお知らせします

平成14年度の当初予算が第1回定例市議会で成立しました。市財政の中心となる一般会計予算額は、414億3千万円で、前年度に比べ1億7千700万円、0.4%の増です。さらに、特別会計と水道事業会計を含めた予算総額は、746億3千813万3千円と2.0%の増となりました。ここでは、主に一般会計予算の内容を歳入歳出別にお知らせします。



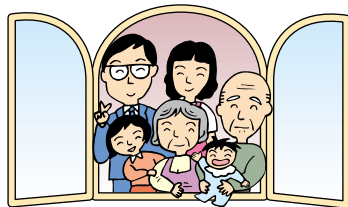
市に入ってくるお金

一般会計における歳入のうち最も

多いのが個人市民税や法人市民税、固定資産税などの市税で、全体の6割近くを占めています。続いて多いのが国庫支出金で、市が行う特定の事業に対して国から交付されるお金です。市債は、事業を行うために、国などから借り入れるお金です。続いて、繰越金、地方交付税、県支出金の順になっています。なお、市民一人当たり換算した市税の額は、表1のとおりです。

歳入の内訳

- ①市税(55.8% 231億2千943万5千円)
市民税や固定資産税など
- ②国庫支出金(7.7% 31億8千700万7千円)
国からの補助金など
- ③市債(6.4% 26億3千970万円)
国などからの借入金
- ④繰入金(5.4% 22億2千188万9千円)
市の貯金からのお金
- ⑤地方交付税(5.1% 21億円)
国から交付されるお金
- ⑥県支出金(3.2% 13億1千144万7千円)
県からの補助金など
- ⑦地方消費税交付金(3.1% 13億円)
市に割り当てられた消費税交付金
- ⑧諸収入(2.4% 10億1千95万1千円)
- ⑨地方特例交付金(2.3% 9億3千250万円)
- ⑩その他(8.6% 35億9千707万1千円)



写真はイメージ

●平成14年度狭山市予算一覧

区分	平成14年度予算 (前年度比)	増減率 (%)
一般会計	414億3千万円 (1億7千700万円)	0.4%増
特別会計	国民健康保険	97億1千714万7千円 (1億3千324万円) 1.4%増
	下水道事業	43億7千466万3千円 (3億3千947万8千円) 8.4%増
	老人保健	94億1千922万4千円 (3億4千819万1千円) 3.8%増
	狭山都市計画事業上広瀬土地区画整理事業	4億5千333万1千円 (1億1千598万円) 34.4%増
	狭山都市計画事業狭山市駅東口土地区画整理事業	8億9千319万8千円 (3億708万9千円) 52.4%増
	介護保険	36億8千582万2千円 (2億2千257万5千円) 6.4%増
	計	285億4千338万5千円 (14億6千655万3千円) 5.4%増
水道事業会計	46億6千474万8千円 (1億7千718万4千円) 3.7%減	
合計	746億3千813万3千円 (14億6千636万9千円) 2.0%増	

●平成14年度狭山市一般会計重点施策の主な予算

総務費 住民基本台帳ネットワークシステムの整備... 4千739万9千円 男女共同参画啓発冊子作成事業...100万円 民生費 社会福祉会館駐車場用地の取得... 1億655万円 成年後見制度利用支援事業...129万9千円 ホームヘルプサービス事業の充実(精神障害者・難病患者)... 3千893万1千円 手話通訳者派遣事業...535万5千円 延長保育事業(12時間)の実施圏の拡大...873万8千円 学童保育室土曜保育時間の延長...218万9千円 学童保育室新設事業... 2千円 衛生費 生活習慣病予防対策事業... 5億4千257万1千円 くぬぎ山地区自然再生事業... 1億3千112万9千円 焼却灰セメント資源化事業... 1億4千301万円 天然ガスごみ収集車整備事業... 1千365万円 し尿処理施設更新事業... 5億7千269万1千円 労働費 失業者能力向上指導事業...300万円 農林水産業費 基盤整備促進事業... 9千213万円 商工費 中小企業経営支援相談事業...240万円 小規模事業経営支援事業...700万円 中心市街地等商業活性化支援事業...200万円 空き店舗対策事業...690万円 土木費 大規模流通業務施設立地区域排水施設整備事業... 3千900万円 狭山市駅西口第1種市街地再開発事業... 2千600万円 新都市機能ゾーン整備事業... 1億3千586万円 柏原新狭山線整備事業... 5億840万7千円 狭山市駅東口土地区画整理事業... 8億1千799万5千円 消防費 小型動力ポンプ付水槽車更新事業... 3千150万円 消防ポンプ自動車更新事業(2台)... 3千400万円 消防団施設整備事業... 3千450万円 教育費 生徒指導支援員配置事業... 1千500万円 教育情報ネットワーク整備事業... 6千539万3千円 小学校校舎大規模改修事業... 1億2千900万円 中学校教育用コンピュータ更新事業... 1千701万1千円 国体テニスコート会場整備事業... 2億3千943万6千円



皆さんのために
使われるお金

一般会計の歳出
では民生費が最も

多く、高齢者や障害者、児童など福祉の充実を図ります。土木費では、道路の整備・改修、公園の整備・管理など都市基盤の整備に充てられます。教育費は学校教育や生涯学習教育などに充てられます。表 2は目的別歳出を市民一人当たりに換算したもので、表 3は歳出を性質別に表したものです。

歳出の内訳

①民生費(25.3%) 104億6千768万3千円)



福祉や年金など

②土木費(15.2%) 62億8千652万8千円)

③衛生費(13.9%) 57億5千328万9千円)

保健、衛生など

④教育費(12.3%) 50億8千773万6千円)

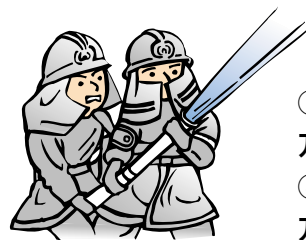
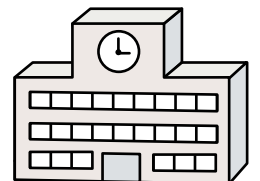


⑤総務費(12.2%) 50億8千79万6千円)

市の運営や自治運営費など

⑥公債費(11.2%) 46億4千461万4千円)

市の借入金の返済など



⑦消防費(4.6%) 19億617万4千円)

⑧その他(5.3%) 22億318万円)

市民一人当たりに使われるお金の表 (2)

民生費	6万4千593円
土木費	3万8千792円
衛生費	3万5千502円
教育費	3万1千395円
総務費	3万1千352円
公債費	2万8千660円
消防費	1万1千762円
その他	1万3千595円
総額	25万5千651円

現在) 人口:16万2千57人平成14年1月1日

歳出の性質別内訳表 (3)

人件費	1億1千452万1千500円
物件費	79億3,000万3千円
扶助費	53億2千266万8千円
繰出金	46億4千753万7千円
公債費	46億4千439万8千円
投資的経費	42億4千400万2千円
その他	32億9,177万7千円

市民一人が負担する市税(表 1)

市民税	6万5千669円
固定資産税	6万3千541円
都市計画税	7千155円
市たばこ税	5千628円
軽自動車税	723円
特別土地保有税	8円
総額	14万2千724円

●問い合わせ財政課へ内線7113